

心のバリアフリー教育の推進

< 今年度の取組等紹介 Vol.12 >

～心のバリアフリー教育グッドプラクティス顕彰校 決定～

県教育委員会では、心のバリアフリー教育を推進しており、このたび、心のバリアフリー教育の取組において、他の学校にとって参考となり、優れた成果があったと認められる学校を「心のバリアフリー教育グッドプラクティス」として、以下のとおり顕彰することとしました。

多くの応募をいただきありがとうございました。顕彰校の取組は、次号以降で紹介します。また、県Webページ (<https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/seisaku/kokoro-barrier-free/reiwa4-good.html>) でも紹介していますので、参考にいただき、各学校でも心のバリアフリー教育に取り組んでみましょう。

顕彰名	学校名
最優秀賞	県立四街道北高等学校
優 秀 賞	神崎町立米沢小学校
	東金市立丘山小学校
	市原市立市原小学校
	銚子市立第三中学校
奨 励 賞	県立東金特別支援学校
	八千代市立高津小学校
	野田市立関宿小学校
	浦安市立堀江中学校
	松戸市立第五中学校
	一宮町立一宮中学校
南房総市立富浦中学校	

最優秀賞 県立四街道北高等学校



実践内容

- ①パラスポーツ体験（全校対象）
- ②パラスポーツ講演会（1学年対象）
- ③手話による活動・交流
（手話ソングの会）
- ④保育基礎コースでのボランティア活動・
障害者理解促進
（保育基礎コース生徒）

選定委員の評価（一部抜粋）

- 学校全体でさまざまな取り組みを行い、
地域等の連携や広報も優れている。
- 学校の特色を生かした取り組みが展開
され、広く情報発信していることは素晴
らしい。さらに地域の方々と交流する場
面が増えることを期待する。